

我が町あれこれ情報★

◇昭島つれづれ

【昭島クジラと象の足跡】

昭島といえば「クジラと水」がすくなく思い浮かぶほど、我々市民とは縁が深い。昭島市民の飲料水はすべて地下水との事だが、水道水として供給しているので、消毒のため薬品などを添加しているのだろう。無添加の地下水であれば、現在の供給水よりどれほど美味か、味わってみたいものだと思っている。



その水にも増してなじみ深いのが、クジラである。

1961年、多摩川の八高線鉄橋下流で市内の小学校の先生が発見して以来、しばらく専門の研究機関などで調べた結果、世界でもまれなクジラのほぼ完全な化石であることが分かり、調査を進めていくうちに新種であることが報告され、全国区、いや世界的なニュースとなった。お隣の日野市でもクジラの化石が数個見つかり、日野クジラと命名されたとのことであるが、昭島市内で発見の完全体と比べると、インパクトは大きくなかったのではないと思われる。



そんなわけで昭島では市の公式キャラクター「アッキー&ア



イラン」をはじめ街路灯やマンホール蓋、街路脇のレリーフ、拝島駅舎のステ



ンドグラス、くじらロードからくじら祭まで、クジラのオンパレードである。

クジラの化石は160万年ほど前の時代で、昭島市は海であったと言う。一方クジラより古い170万年ほど前の時代に、アケボノ象という小型の象が住んでいて、クジラの化石発見場所と同じ多摩川の2km程上流で、1999年にその足跡の化石が発見された（写真右）。という



ことは、陸地であった後、地盤の沈下か海面の上昇により海が誕生し、クジラの化石となる物体がこの地で埋もれたことになるのだろう。どちらにどれほどの価値があるのかは、素人の私には分からない。

しかし象の足跡の化石は、象が昭島の土地に存在した確実な証拠であると考えられるが、クジラは果たして、そこで生息していた確証とはならないのではなかろうか。潮の流れで、東北大震災の津波のごみが、10年以上たった今も、太平洋のある地域を一団で漂流しているというドキュメンタリーを見て、クジラも遠くの家から流されてきたのかもしれないと考えてみたりもした。

そうすると昭島市におけるクジラと象の価値は、どの様に推し測れば良いのか更に考えてしまう。

(東町・福田 晃)



～地域住民交流の場～ 郷地・東町のサロン活動情報！

◆東町集会所の「東町サロン」

●毎月第1月曜日の午前10時～12時に開催。
参加費は100円。

◇問合せ：TEL042-541-4848 藤森さんまで

◆昭島団地自治会館で開催しているサロン

「いしまとう」…囲碁・将棋・麻雀を楽しむサロン。

●毎月第1日曜日の10時～16時に開催。

参加費は200～300円。

「あおぞら寄席」

●8月21日に、地元出身で現在二つ目の桂笹丸さんと、横浜から前座の滝川はち水鯉（みり）さんに来て頂き、「犬の目」「明烏」「寿限無」「動物園」を語って頂きました。当寄席も、今回で22回目を迎

え、昭島では貴重な定期的寄席開催場所として定着しています。参加費は、大人600円、高校生以下200円ですが、プロの方の落語をこの参加費で聞けるのも、ここだけです。次回は11月開催を予定しています。コロナ対策もしっかりとっていますので、安心してご参加頂き、大いに笑ってください。



はち水鯉さん



笹丸さん

「麻雀同好会」

●毎月第2・4月曜日の13時～17時に開催。

参加費は200円。いつも平均4卓16人程が参加。

◇問合せ：TEL080-5185-0444 清水まで

※昭島団地自治会館はサロン用の駐車場あり。

※いずれも開催が不明な時は担当までご確認を。